

長野市子どもわくわく体験事業補助金 事業実施報告書

令和 年 月 日

団体名：

代表者職・氏名：

事業の名称							
実施期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()						
活動場所	(施設利用の場合は施設名)						
共催者名							
事業内容	※ 事業の開催要項、募集案内、チラシなどを添付する						
参加人数	補助対象	子ども (4才~中学生) 人	補助対象外	幼児(4才未満) 人	高校・大学生 人	講師(外部) 人	(合計) 人
※保護者・役員除く							
体験活動の内容及び実際の様子							
活動の様子	※ 写真をA4用紙に貼り付け添付する						
体験から学んだこと	子どもの様子や感想						
	主催団体の立場から						

記入例

報告書

長野市子どもわくわく体験事業補助金 事業実施報告書

「肩書き」も記入！

令和 年 月 日

団体名： けんぜん育成会

代表者職・氏名： 会長 青木 年男

必ず、申請した時と同じ事業名称を記入してください。

報告書への押印は、不要です。

事業の名称	魚つかみ・火おこし体験教室					
実施期間	令和〇年 5月30日（日）～ 令和 年 月 日（ ）					
活動場所	(施設利用の場合は施設名) けんぜん地区 休耕田					
共催者名	けんぜん公民館・けんぜん小学校PTA・けんぜん中学校PTA					
事業内容	※ 事業の開催要項、募集案内、チラシなどを添付してください。 保護者・役員的人数は報告不要です（計算式あり）。 ※参加者名簿も保護者・役員の掲載も不要ですが、 子どもの学年（または年齢）、氏名（フルネーム）					
参加人数	補助対象 子ども (4才～中学生)	補助対象外	幼児(4才未満)	高校・大学生	講師(外部)	合計
※保護者・役員除く	35 人		7 人	3 人	2 人	47 人
体験活動の内容及び実際の様子	○ 魚つかみ体験（体験活動①） 川に放流された魚を上級生がリードして手でつかんだり、講師の先生から魚の生態について説明を受けながら魚つかみを行っていた。 ○ 火おこし・調理体験（体験活動②） 講師及び保護者の指導のもとで、安全に火おこしを行い、上級生は実際に魚をさばいた。下級生は、さばいた魚の串打ちをして、火加減を見ながら上手に焼くことができていた。					
活動の様子	※ 写真をA4用紙に貼り付け添付する ※ 必須 ※ 子どもが体験している様子が分かる写真					
体験から学んだこと	子どもの様子や感想 ・ 生きた魚を手づかみでつかまえたり、自分でつかまえた魚をさばいて調理して食べるまで一連の体験をすることができ、命を頂くということや食事の大切さが分かった。 ・ 魚の生態について学んだり、火おこしなど普段、学校や家庭では体験できないことができてとても良かった。 主催団体の立場から ・ 中学生が小学生を手伝ってあげたりして、異年齢間の交流があり、子どもの社会性や協調性を養う場となっていることが実感できた。 ・ 地域でのこのような活動は、保護者も含めて地域の絆を深めることができ有意義であり、今後も企画・実行していきたい。					

4才未満の幼児は、対象になりませんので、合算しないでください。

体験活動にあてはめて、子どもが実施した活動を具体的に記入してください。

※ 必須 ※
子どもが体験している様子が分かる写真